

登録No. U-034  
 登録名 Avelumab療法  
 催吐性リスク 最小度  
 適応疾患 尿路上皮癌（膀胱癌）  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	アセトアミノフェン	600mg/body		d1	p.o.	アベルマブ投与 30-60分前	
Rp.2	リン酸カルフェリシ 生食	5mg/body 50mL/body		d1	d.i.v.	30分	
Rp.3	アベルマブ 生食	10mg/kg 250mL/body		d1	d.i.v.	1時間	0.2μmインラインフィルター使用
Rp.4	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	アベルマブフラッシュ用

1クールの間 2週間  
 その他（副作用・PS規定等）

PS：0または1  
 【投与基準】 1次化学療法開始時にStageIVで開始前の測定可能病変 $\geq$ 1  
 1次化学療法としてGC療法またはGCarbo療法を4-6クール実施し、完了後にRECISTに基づくPDが認められていない（CR,PRまたはSDを維持している。）  
 適切な骨髄機能、腎機能、肝機能を有する。  
 【副作用】 irAE、infusion reactionなど